

# **キリシタン殉教地**

**- 松本市波田 -**

**ご案内**

**巡礼へのお招き**

初版 2017・6・30

## はじめに

松本市の文書館が所蔵する波田町誌―歴史現代編―において、江戸の初期（慶長十九年八月三日）、十三人のキリシタンが、松本市波田の地で磔（はりつけ）に遭ったという伝承を伝えています。

また、この伝承を実直に受けとめ、伝承地（磔松原）に残された該当遺物の発掘調査研究に長年費やされた郷土史家大月健吾氏によってまとめられた冊子もこの度発表され、同氏案内による現地見学会も催されました。

そこで、これを受けて、以上を一冊の冊子にまとめた「**伝承 キリシタン殉教 殉教地-松本市波田**」を作成するとともに、現地を訪れてみたいという方々のために、ご案内を兼ねた本紙「**キリシタン殉教地-松本市波田 - ご案内 巡礼へのお招き**」を作成しました。

本紙においては、一人でも、また、グループでも現地にたどり着けるよう案内させていただいておりますが、どうしても道案内が欲しいという方は、本紙作成者でもある以下の者にご相談ください。

波田殉教地ガイドマスター 巻山哲雄

電話：0263-58-8885

携帯：090-6938-0480

FAX：0263-86-6462

- 目次 -	ページ
殉教地ご案内	3
巡礼へのお招き	4～12

# 殉教地ご案内

## 殉教地の地図

「別紙1」(ページ11)をご参照。

## 殉教地の概況

- ・殉教地は、現在大規模に区画整理された畑地帯の一角にあり、リンゴ畑・スイカ畑となっております。そのため、地主様の許可なくして畑に入ることはできません。(すなわち、公認された遺跡として整備された状態ではありません。)
- ・現在は、畑の中から掘り起こされた遺物となる大きな石(碑や礎石のような石)がスイカ畑の片隅二ヶ所に置かれているのを見ることができますが、それ以上の遺跡・遺物などを見ることはできません。
- ・畑の周囲には、軽自動車2台がなんとかすれ違うことができる農業用道路がめぐらされておりますが、農作業に向かう車が都度走っておりますので、車の走行を妨げるような行為は避けねばなりません。
- ・殉教地の一角(畑の片隅)を臨時の礼拝所とすることについては地主様の許可を得ておりますが、畑の中に入ってそれ以外のところを見学することはできません。
- ・殉教地を訪れるために巡礼路(カミーノ)を歩かれる方がおられること(殉教地周辺の農業用道路を歩くこと)を、波田支所に事前に通知してあります。

# 巡礼へのお招き

巡礼とは  
巡礼の目的  
巡礼路（カミーノ）  
巡礼にあたって  
祈り

## 巡礼とは

カトリックにおいて、日常的な生活からしばらく離れ、聖地や聖母のご出現地、キリシタンの殉教地、大聖堂などのような宗教的な聖域を訪れることによって、信仰者としての自身の生き方を見つめなおし、信仰を深めようとする宗教的な行為です。

## 巡礼の目的

信仰生活にともなう巡礼者ご自身の苦難・苦しみ、そして、この巡礼にともなう苦難・苦しみを神に献げながら、また、殉教地の臨時礼拝所においては、波田におけるキリシタン殉教者十三人の殉教の有り様を観想しながら、命を惜しみなく神に献げられ、まさに信仰に生きた十三人を讃え、その救い（永遠の安息）を願う祈りを献げます。

## 巡礼路（カミーノ）

これら聖地・聖域までたどる道は巡礼を志す人々（巡礼者）によって様々となりますが、そのたどる道のことを巡礼路といいます

巡礼路は通常は複数存在します。しかし、巡礼者に対するご案内の質的向上および巡礼者の安全を図る目的で、その道を特定（指定）する場合がありますが、ここでは、その特定された道のことをカミーノ（特定巡礼路）といいます。

波田殉教地までのカミーノは、アルピコ交通（株）が経営する上高地線（松本と島々の間を結ぶ鉄道）の森口駅から殉教地までの特定された道で、別紙1に示してあります。

## 巡礼にあたって

### 1. カミーノを歩く時間帯

様々な方面から巡礼者が訪れること、および、夏場と冬場では殉教地の環境が著しく異なることから、特に冬場において、やや暖くなる日中の時間帯で巡礼されることが

望ましいとのことから、午後1時頃から4時頃までの間において、殉教地を巡礼することが望まれます。

出発地点である上高地線森口駅の時刻表

下り		上り	
松本	→ 森口	森口	→ 松本
12:44	→13:03	14:55	→15:15
14:07	→14:26	16:14	→16:34

## 2. ご注意

- ・巡礼は観光ではございませんので、服装は軽めの質素なものでお願いします。
- ・最低でも往復3キロほど歩きますので、靴は軽めのを履かれるとよろしいでしょう。
- ・帽子をかぶりましょう（日焼け防止、防寒対策、降雨対策）。
- ・雨の中を歩く場合もございますので、必ず雨具（合羽類）をご持参ください（傘は使用禁止です）
- ・歩く時、できるだけ身体の安全・安定（バランス）を確保するため、両腕を自由にしておく必要がございます。そのため、お荷物は肩に掛けたリックサックのようなものに入れて歩くことをお勧めします。
- ・巡礼路（カミーノ）の往復においては、走行中の車の邪魔にならぬよう、一列になってお歩きください。
- ・殉教地（現地）まで、車で行くこと、付近で車を停めることは厳禁です。（なお、森口駅には車が2～3台停められる駐車場がございますが、駐車可能台数以上の車で行かれる場合は、駐車不可能とお考え下さい。  
なお、団体で行かれる場合は、車やバスは森口駅の駐車場に停めるのではなく、買い物やトイレの使用を目的で、森口駅近くにあり、信号機「森口」（丁字路の交差点）の角（かど）にあるコンビニ（ファミリー・マート）の東側にある駐車場にコンビニの許可を得て駐車されると良いでしょう。（このマナーを必ず守りください）
- ・殉教地周辺にはトイレがございませんので、巡礼路（カミーノ）を歩かれる前に必ずトイレを済ましてください。（なお、森口駅にはトイレがございます。）
- ・夏場に巡礼される場合は、飲み水を必ずご持参ください（熱中症対策）。また、冬場に巡礼される場合は、寒冷地ですので防寒対策を施してください。

### 3. 殉教地までの行き方

次の4つの方法がございます。

#### a. カトリック松本教会に集合する。

この場合、教会から松本駅まで20分ほど歩き、松本駅で上高地線の電車に乗りますと、20分ほどで森口駅に着きます。

メリット：教会の駐車場に車が停められます

デメリット：森口駅までおよそ45分を要します。

#### b. 松本駅に集合する

メリット：最寄りの駅から松本駅まで、JRなどの電車が使えます。

デメリット：上高地線の電車に乗り換え、森口駅まで乗車しなければなりません。

#### c. 森口駅に集合する

メリット：森口駅の駐車場で車を停めることができます。

デメリット：森口駅駐車場の駐車可能台数に限りがありますので、多くの車で来られる場合は、ここでの集合は適当ではありません。

#### d. 交差点「森口」の角にあるコンビニの駐車場に集合する

メリット：バスや多数の車が停められます。コンビニで買い物やトイレができます。(買い物：水が入ったペットボトルなど)

デメリット：コンビニでの買い物が求められます。

### 4. 森口駅から殉教地まで

#### 1) カミーノにおける道順

① 森口駅 → 線路沿い(左側に線路、西方向に直進) → 踏切に出る、左折して踏切を渡る(踏切を渡る車に注意) → \*

② コンビニ → コンビニの東側の道路に沿って南に向かう → 踏切を渡る → \*

\* → 右側の歩道を歩く(南に直進) → 途中右折して畑が残る小規模な住宅街に入る(西に直進) → 途中左折 → 南に直進すると段丘面にさしかかる → 段丘面手前で右折し、坂を登り切り、段丘面上の道を段丘面に沿って歩く(西に直進) → 途中農免道路に出会う、道路を渡って、反対側の側道に出て、今度は道路右側の側道(歩道)を歩く(やや右寄りに曲がった後、南に直進) → 途中で歩道(側道)がなくなる → これより軽自動車

2台がやっと行き交うことができる農業用の道路にさしかかるが、車の往来が激しいので最大の注意が必要、一列になって慎重に歩く（南に直進） → 途中の交差点で右折 → 西に直進するが、左側（南側）がすでに殉教地、道路がやがて交差する次の交差点までの間のほぼ中間地点で立ち止まる → このあたりの右側（北側）の畑一帯が春日淡路守の側室寵姫と12人の侍女が住んだとされる御殿場屋敷跡 → さらに直進して交差点で左折して直進（南進） → 次の交差点までの間（左側すなわち東側はりんご畑）の距離の半分ぐらい（中間あたり）まで進んでから立ち止まって東西の方向を見ると、このあたりで右側（南側）がやや高い段丘になっていることに気づくが、この段丘面のすぐ近くの東西方向に走る段丘上で、その段丘面に沿った形で、寵姫も含むキリシタン11人が磔（はりつけ）にあったとみられる場所で、寵姫が磔にあった場所は、そのあたりからはやや遠いところとみられている → さらに南に進むと遺体が葬られたとみられる御霊廟跡がある → さらに進むと次の交差点に着くが、そこで右折して西に進むと、別の3人が磔にされた場所とその御霊廟跡があり、反対に、左折しえ東進し、左側りんご畑を過ぎればスイカ畑（左側）に出る、そのスイカ畑が発掘者大槻（大月）様の畑で、その畑の道路側のところで別の2人が磔にされた場所で、その近くにその御霊廟跡があるとされている。なお、このあたりの二枚のすいか畑の道路側の片隅2か所に、大槻様がこの殉教地から掘り出したとされる大きな石が置かれている（この石が置かれている場所が暫定の礼拝所となるので、ここで巡礼者は祈りを献げることになる） → 帰路は、道をさらに進んで（東進し）、次の交差点において、元来た道に出会うが、そこを左折して元来た通りに帰れば森口駅に出ます。

## 2) 所要時間

森口駅 → 殉教地	: 約20分（普通の歩き）
殉教地の周囲を歩く所要時間	: 約10分（普通の歩き、説明時間を省略）
説明時間	: 約10分（歩きながらの説明）
お祈りの時間	: 約30分
殉教地 → 森口駅	: 約20分（普通の歩き）

計 約1時間30分

### 3) 礼拝所（臨時）にて

ここでのおよその流れは以下の通りです。

- ・石の上に十字架を立て、電池式簡易型のローソクを立てます。
- ・ロザリオをお持ちの方は、ロザリオを手にします。
- ・先唱者がロザリオについて説明します。

序唱の部分 : †→大きな珠（1）→小さな珠（3）→紐→【各連へ】

各連の部分 : 大きな珠（1）→小さな珠（10）→紐

折り方：以下の\*\*\*\*の部分は先唱者が唱え、それに続く部分を参加者が祈ります。

† →「十字架のイエス様の尊い5つの御傷の功德によって、この波田の地で殉教された13人のキリシタンの御霊（みたま）を救い、永遠の安息をお与えくださいますように、アーメン」（1回）

大きな珠→「悲しみに満ちた汚れなきマリアのみ心、あなたに願い求めるわれらの祈りを聞き給え。」（3 or 10回）

小さな珠→「御母よ、汚れなきみ心の愛の炎によって、殉教者13人の霊（みたま）を救い、永遠の安息にお導きください。」（3回 or 10回）

紐の部分→「栄光は父と子と聖霊に、初めのように今もいつも世々に、アーメン」（3回）

「ああ御母マリアよ、あなたの愛の炎の恵みを、全人類の上に、今も臨終の時も輝かせ給え、アーメン」（1回）

- ・はじめのことば（先唱者）

なお、これ以降は先唱者の先導で進めます。

- ・カトリック聖歌を歌います

【カトリック聖歌432番「われらたたえん」1番】（別紙2を参照）

- ・全員、十字架のキリストをみつめ、さらに、沈黙しながら、キリストの御受難において受けた5つの御傷を、反時計回りに、順に（すなわち、頭→右手首→両足首→左手首→脇腹を順に）みつめます。
- ・先唱者は以下の①～⑤を順に唱え、同時に十字を切りながら「父と子と聖霊のみ名によって」と唱えるので、会衆は引き続き「アーメン」と唱えます。
  - ① 御（おん）頭にかぶらせられた茨の冠による御傷の御功德によって



- ② 釘付けせられた御右手首の御傷の御功德によって
- ③ 釘付けせられた御両足首の御傷の御功德によって
- ④ 釘付けせられた御左手首の御傷の御功德によって
- ⑤ 槍で貫かれ血と水が流れ出た御脇腹の御傷の御功德によって

・これより、次の4)の祈りを参照しながら、「愛の炎のロザリオ」をお獻げします。

なお、全員お立ちになったまま、ご唱和ください。

先唱者が先に唱えますので、ロザリオの珠をくくりながら祈りましょう。

・おわりに、カトリック聖歌を歌います

【カトリック聖歌432番「われらたたえん」2番】(別紙2参照)

#### 4) 祈り

・以下の\*\*\*\*の部分は先唱者が唱えます。

それ以外(\*\*\*\*に続くところ)は、参加者が一緒に唱えます。

### 【 祈り 】

#### <前唱>

- ・(大きな珠●)「悲しみに満ちた汚れなきマリアのみ心、あなたに願い求めるわれらの祈りを聞き給え。」(1回)
- ・(小さな珠●)「御母よ、汚れなきみ心の愛の炎によって、殉教者13人の御霊(みたま)を救い、永遠の安息にお導きください。」(3回)
- ・(紐の部分)「栄光は父と子と聖霊に、初めのように今もいつも世々に至るまで、アーメン」(3回)  
「ああ御母マリアよ、あなたの愛の炎の恵みを、全人類の上に、今も臨終の時も輝かせ給え、アーメン」(1回)

#### < 第1連 ~ 第5連 >

(各1連毎に次を唱える)

- ・(大きな珠●)「悲しみに満ちた汚れなきマリアのみ心、あなたに願い求めるわれらの祈りを聞き給え。」(1回)
- ・(小さな珠●)「御母よ、汚れなきみ心の愛の炎によって、殉教者13人の御霊(みたま)を救い、永遠の安息にお導きください。」(10回)
- ・(紐の部分)「栄光は父と子と聖霊に、初めのように今もいつも世々に至るまで、アーメン」(3回)

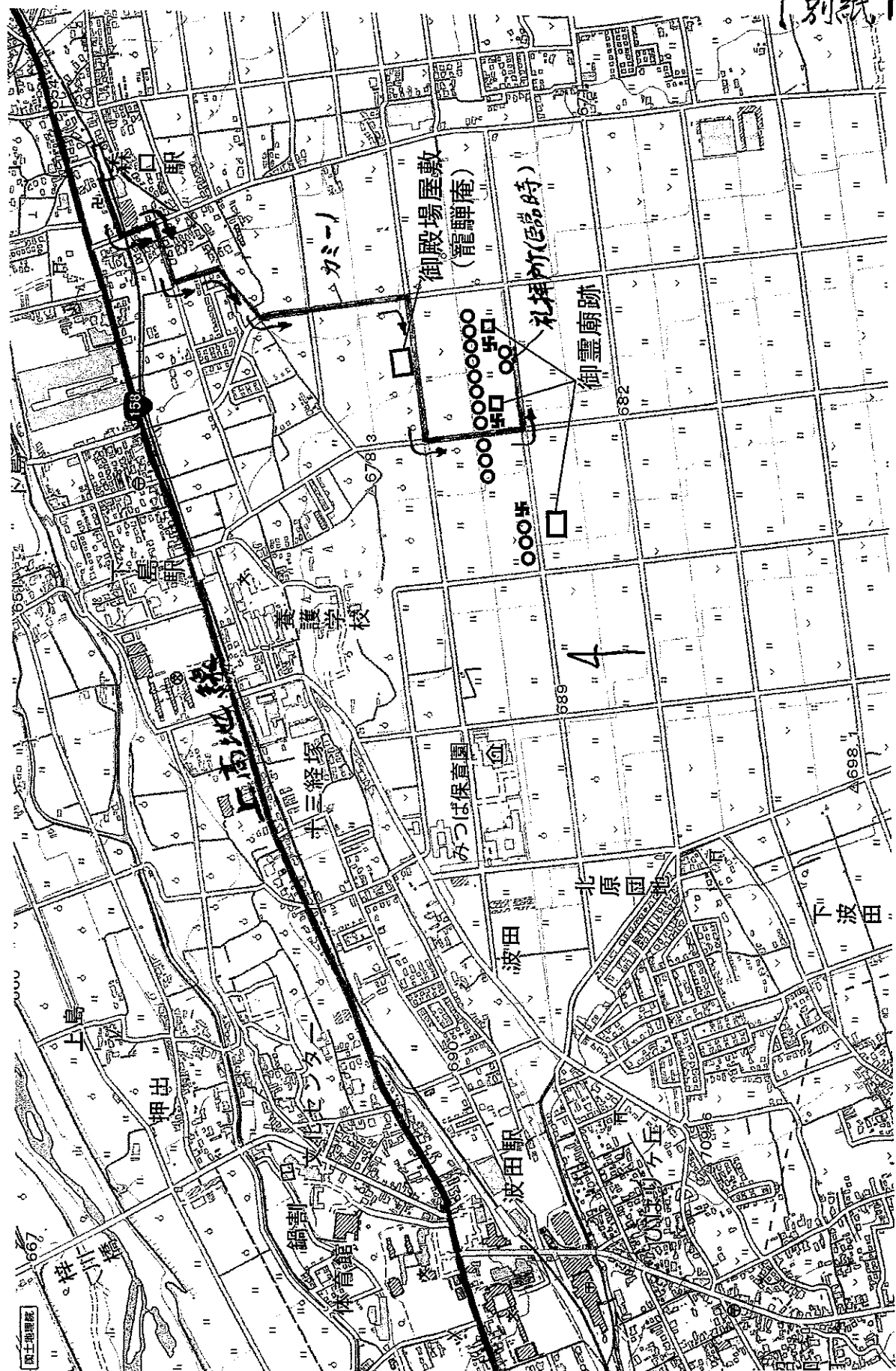
「ああ御母マリアよ、あなたの愛の炎の恵みを、全人類に上に、今も臨終のときも輝かせ給え、アーメン」(1回)

＜おわりの祈り＞

- ・ 全員、十字架のキリストをみつめ、そして沈黙しながら、キリストの御受難において受けた5つの御傷を、反時計回りに、順に(頭→右手首→両足首→左手首→脇腹を順に)みつめながら、先唱者は以下(①～⑤)を順に唱え、同時に、十字を切りながら「父と子と聖霊のみ名によって、アーメン」と唱えます。
  - ① 御(おん)頭にかぶらせられた茨の冠による御傷の御功德によって
  - ② 釘付けせられた御右手首の御傷の御功德によって
  - ③ 釘付けせられた御両足首の御傷の御功德によって
  - ④ 釘付けせられた御左手首の御傷の御功德によって
  - ⑤ 槍で貫かれ血と水が流れ出た御脇腹の御傷の御功德によって
- ・ 「十字架のイエス様の5つの尊い御傷の功德によって、この波田の地で殉教された13人のクリシタンの御霊(みたま)を救い、永遠の安息をお与えくださいますように、アーメン」

(おわり)

〔別紙1〕



松本市波田 平成時代の地図【抜粋】 ○=礎場所

国土院蔵

